

当事者家族が語る

脳の障害：高次脳機能障害

～見えない違和感が「障害」とわかるまで～

脳 卒中や交通事故、スポーツや転倒、転落など意図せずに脳に損傷を負うことは多々あります。その後、その家族について「なんとなく変」の違和感を感じたことはありませんか？

もしかしたら、その「小さな見えない違和感」は「高次脳機能障害」かもしれません。

当事者に一番接する家族の視点から、その障害がどう映るのか、何が難しい、困っている、どんな支援があるのか、経験談に基づきお話しいただきます。

当事者家族はもちろん、医療関係者、福祉関係者、企業の人事関係者の方々も是非ご参加下さい。



参加費無料
市内在住
在学、在勤
の方

〔日時〕 11月25日(土)

午後1:30～3:00
(開場 午後1:00)

〔会場〕 武蔵野商工会館 4階
市民会議室
(武蔵野市吉祥寺本町1-10-7)

定員 50名

※要事前申込/手話通訳あり
※先着順(定員を超過し参加をお断りする場合のみ、ご連絡いたします。)

講師：櫻木 友紀氏

製薬会社で同僚だった夫と結婚。当時34歳だった夫が旅行先で倒れ、多発性脳腫瘍と診断される。

3回の大手術、放射線+抗がん剤治療を経て、身体障害等もなく職場に復帰。その復帰力に「奇跡の人」と評されるも、家庭内の夫の様子に違和感を感じ、悩み続ける。

脳腫瘍の診断から15年が経過した頃、ふとしたきっかけから武蔵野市高次脳機能障害相談室「ゆいっと」の存在を知り、ようやく高次脳機能障害と判明。脳腫瘍の再発により2023年に夫が旅立つ。

現在は損害保険会社で人事を務める。



申し込み先

武蔵野市障害者福祉センター

※お申し込み方法は裏面をご覧ください

電話:0422-55-3825 FAX:0422-51-9951

Eメール:cnt-syogaisya@fuku-musashino.or.jp



参加申込方法

◆FAXでお申し込みの方 ⇒ 0422-51-9951

・氏名(フリガナ)
・お電話番号およびFAX番号
・武蔵野市内(どれかに○) 在住 ・ 在勤 ・ 在学
・ご参加にあたっての配慮事項(あればご記入下さい) 1 車椅子使用 2 手話通訳に近い座席希望 3 その他 ()

◆PC・スマートフォンでお申し込みの方

Eメール(cnt-syogaisya@fuku-musashino.or.jp宛)

下記フォーム、右の二次元コードいずれかより

<https://forms.gle/FvbT8fxy8UzHS1QB8>

①お名前 ②メールアドレス ③電話番号 ④武蔵野市
在住・在勤・在学のいずれか ⑤必要な配慮事項
をご記入の上、お申し込みください。



申込み期間: 令和5年10月1日～令和5年11月10日

※当日はマスク着用と手指消毒のご協力をお願いいたします。

※当日体調がすぐれない方(発熱等)はご参加をお控えくださいますようお願いいたします。

※悪天候などの影響により、こちらからご連絡をさせていただく場合がございます。ご了承ください。